

第 1 回 定 例 会

教 育 行 政 報 告

令 和 6 年 2 月

北 広 島 市 教 育 委 員 会

令和6年第1回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 令和6年度以降の長期休業期間について

始めに、令和6年度以降の長期休業期間についてであります。夏の猛暑が今後も想定されるため、学校の暑さ対策の一つとして、長期休業期間の総日数を現行の50日以内から56日以内とするよう、北広島市立学校管理規則の一部を改正したところであります。

これを受け、令和6年度につきましては、児童生徒の命と健康を守るとともに、児童生徒の学びの保障を図ることを総合的に勘案し、夏季休業を31日、冬季休業を21日、合計52日間の長期休業を予定しているところであります。

2 幼保小連携に関する研修会について

次に、幼保小の連携に関する研修会についてであります。12月25日、市役所において、北広島市教育研究会との共催により開催したところであります。

当日は、市内の幼稚園、保育所、認定こども園、小・中学校から44名の参加者があり、北海道教育庁幼児教育推進センターよりお招きした講師に、幼児教育における学びの芽生えから、小学校教育における自覚的な学びへつなげる実践的な事例についてご講演をいただいたところであります。

この研修会は、幼児教育での学びに小学校教育の学びをどう重ねていくかについての交流機会になったところであり、子どもたちの資質・能力を伸ばしていく架け橋期における教育の質の向上につながったものと考えているところであります。

3 令和6年はたちのつどいについて

次に、令和6年はたちのつどいについてであります。1月7日、エスコンフィールドHOKKAIDOにおいて初めて開催したところであり、ます。

当日は、多くの保護者や関係者に見守られる中、新たにはたちとなった492名（585名対象）が参加したところであり、ます。

誓いの言葉では、参加者を代表し萩原健丸（はぎわら たけまる）さん、羽田瑞季（はた みずき）さんのお二人が、自身の夢とボールパーク開業に伴う北広島市への想いを述べました。

萩原さんからは、ボールパーク開業までの道のりを近くで、誰よりも前向きに見届けてきたことから、困難な過程をひたむきに直進し、壁を突破してきた大人達の「アンビシャスの魂」を繋いでいくことが、北広島に生まれ育った、我々の使命であるとの想いが述べられました。また、羽田さんからは、エスコンフィールドHOKKAIDOでのアルバイトを通して、北広島が世界に大きく開かれ、愛されていく未来に胸が弾み、ふるさと北広島を心から誇りに思うとともに、自身が取り組むゴルフから学んだスポーツマンシップを胸に、これからも世界に目を向けて努力を重ね、社会に貢献していく誓いが述べられました。

それぞれが、夢に向かい、責任ある大人として行動していくことを誓う素晴らしい内容であったところであり、ます。

また、株式会社ファイターズ スポーツ&エンターテイメントのご支援をいただき、北海道日本ハムファイターズの選手によるお祝いメッセージのほか、式典終了後にはダイヤモンドクラブラウンジにおいてアフターパーティが実施されたところであり、ます。

はたちとしての自覚と責任を促すとともに、地域社会の一員として期待されていることを認識できるきっかけづくりになったものと考えてい

るところであります。

4 寒地稲作成功150周年記念事業について

次に、寒地稲作成功150周年記念事業についてであります。2月25日に芸術文化ホール開館25周年事業として、公募による市民の参加を得て、創作劇「久蔵と十郎 ～鍬を振るう侍～」の公演に向けて準備を進めているところであります。

また、公益財団法人B&G財団の助成を活用して、星槎道都大学にご協力していただき、マンガによる仮称「中山久蔵物語」の作成や、島松沢の魅力を発信するため、周辺の飲食店やキャンプ場などを掲載したパンフレットの作成を進めているところであります。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。